

まとめ

～ 良好な風景を形成するために～

実態分析

その1: 許認可による規制手法の限界

- ・ 現在の許認可による規制手法
- ✓ 個人が、集落の他の者と調整することなく計画
- ✓ 原則全国一律の許可基準
- ✓ 一件一件の建物などを個別に許認可
- ✓ 里地里山を放置することを規制することはできない

風景にとって悪いものを作らせないことはできるが、
良い風景の形成は難しいのではないか。

集落の風景



再整備前の層雲峡

集落の風景



建物ひとつひとつは基準により許可されても、

実態分析

その2:目標像の不在

- 地域で良好な風景の目標像を共有していない
 - ✓ 基準さえ満たせば、という意識
 - ✓ 住民意識が受動的で規制をうるさいものと捉える傾向
 - ✓ 目標像となる風景の明確な規範がないことが多い

個々の建物などをつくる主体が
良くしたいと思わなければ、
良い風景の形成は難しいのではないか。

地域で合意形成を目指した例



わかりやすいパースにより
住民意識の共有を目指
した事例



地域で合意形成を目指した例



模型を用いて目標像を共有した事例

模索すべき方向性

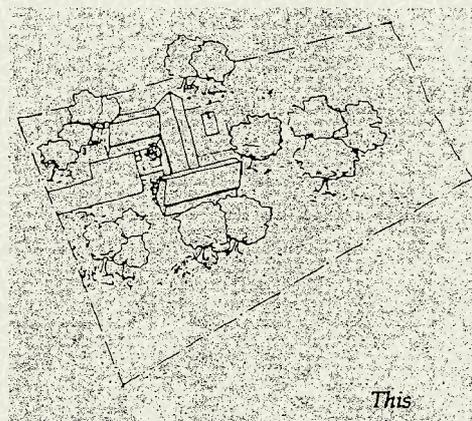
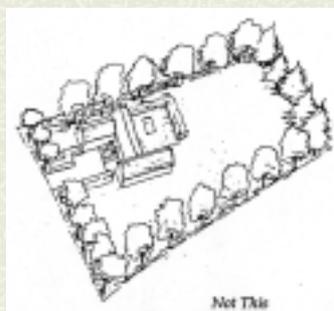
- 地域の各主体を含めた合意形成やNPOなどの自主的な取り組みを基本として風景形成を図るべきではないか
 - ✓ 乗鞍、阿蘇、層雲峡などの例を発展
 - ✓ 目標像を共有し、風景の形成を推進するための制度的担保と支援が重要
 - ✓ 目標像を持たなければ守れない里地里山での自主的な取り組みを支援する風景地保護協定制度の創設

合意形成手法、自主的な取り組みを支えるための考え方

- 原則全国一律の基準による規制から地域に合った風景の形成を支える制度へ
- 個々の申請に対する審査ではなく、地域に合った風景の形成のための支援ができるように

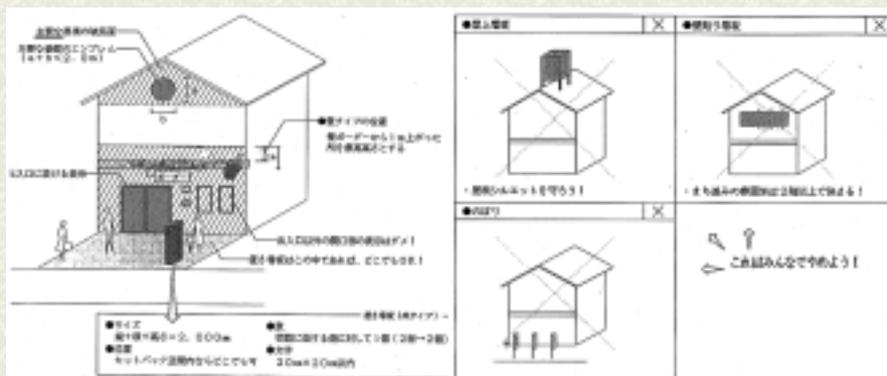
地域での計画の例

- わかりやすい指針をつくっている事例



地域での計画の例

- 広告物について協定を作成している事例



実現の方向性の提案

その1: 合意形成された計画などの制度化

- 集落などにおける風景の形成に資する地域の合意を認定するなどの制度の新設
 - ✓ 地域の合意による目標像づくり、良好な風景形成に資する計画の認定等
 - ✓ 認定された計画などに基づくものについては許認可の簡素化などの優遇措置
 - ✓ 地域の合意の内容を広く公表

実現の方向性の提案

その2:風景形成に資する計画の作成等への支援

- 地域が計画などをつくりやすく、よりよいものとなるよう支援する
- ✓ 風景形成の基本的な考え方を示すなど、目標像づくりを支援
- ✓ 地区ごとの計画を作る際のガイドラインを作成
- ✓ 専門家の参画を得るための地域への情報提供

これらの施策が実現すると・・・

- 集落を含んだ風景や、里地里山の風景が、地域の人々の協働や専門家の関与により形成され、守られていく
- 自然保護官(レンジャー)は、地域の風景の形成にあたって、様々な支援を行い、コーディネーターの役割を果たす
- 地域での取り組みが正式に位置付けられ、広報されることで、様々な取り組みが全国に広まっていく